

中 国 【説 明文を書こう! 「ちょっと立ち止まって」】 解答例

月

日

わ き ワ T ツ ブシ -国 語

組 番

年

名 前

序論

自 分

А

だ

たと思

っ

7

(,)

た

ŧ

 \bigcirc

が、

人

か

Ġ

В

とも

()

ż

ると

指

摘さ

机

なる

ほ

どそう

ŧ

()

で

は

と教えら 机 た 経

験 は 多

いことだろう。

上 0 図 を見てみよう。 よく見ると、 の 図 一からニ

本論

白

1,

部

分を中心に見ると、

左右に

続く矢印がくっきりと浮かび上がる。

このとき、

黒

部

種

類

の絵を見てとることができるはずだ。

は

バ

ッ

クにすぎない。

今度は逆に、

黒

11

部

分に注目してみる。

すると、

左 方向

走

7

いる

人の 影 絵が見えてきて、 白 1, 部分はバ ッ クになってしまう。

この 図の場合、 矢印を中心に見ているときは、 見えているはずの人の影絵が見えなくなり、

人の影絵を中心に見ると、 瞬 のうちに、 目から矢印が消え去ってしまう。

私 たたち は、 \mathcal{U} と目見たときの 印 象に縛ら 机 面 \bigcirc みをとらえて、 その 物 \bigcirc 全て を 知

た

よう 12 思 (,) が ち で あ る。 物 を見 る ときに は、 ち ょ つ と 立ち 止 ま て、 他 \bigcirc 見 方 を 試 してみて

どうだろう か 中 1 15 見 る ŧ 0 を 変えた 1) 見 る と き \bigcirc 距 離 を 変え た l) す 机 ば そ 0 物

★見えるもの

・人の影絵

★どうすれば見える?

・矢印…白に注目

…黒に注目

結論

· 矢印

・人

他 0 面 15 気 づ き、 新 L () 発 見 0 驚きや喜び を 味 わうことが できるだろう。

月日日

年 組 わ き 番 ワ T 名 ツ 玉 語

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

彙だけ 美し 間 全体 別 は と決 0 ょ ŧ < がそ ささやかな言葉の一つ一つに のではなくて、 ま 美 つ L 7 1 言 を いる言葉 用 いたとき同 正 それを発している人間全体 L 正 1) 言 L 葉に ľ 1) よう と 決 っい 反映し 15 ま 美 つ 7 L 7 語 てし る。 () 1) る言 とは まうからである。 L かぎら の世 葉は かし、 一界をい な な 私 たたち 1 。それは、ある人があ やおうなしに背 が 用 () あ る言 言葉 る きとき発 葉 負って 0 と" うも 机 L た を L しまうところにあれるのの本質が、口や とっ 言葉 が 7 質が、 が と ん ナ 4 7 ŧ 先 美 る 単 だけけ か L 独 b か 15 であ そ た ŧ 机 る。 とし だ \bigcirc H 人 語 7 へ

着 京 物 7 都 を \bigcirc 見 る 嵯 せてく 色 峨 だっ 15 住 お染織 た。 机 た。 そ そのピンクは、 家志村ふくみさん 0 美 しさは目と 淡 1 を 1) \bigcirc 吸 ようでい 仕 事 () 込 場 む へ よう て、 話し 7 L 15 感じ かも () た におり、 Ġ 燃えるよう 机 た。 志 村 さん な 強さを内 がなんとも美し 15 秘 &い桜 は なや 色に か 染まっ で L か た ŧ 糸 深 て 落 織 ち

この色は何から取り出したんですか。」

「桜からです。」

志は材桜 と志 \bigcirc さん 村 \bigcirc 皮 皮 をもらっ は から 続 は答えた。 け 取 てこう V) てきて染め 出 L た色 教えてく 素 人 なな 0 ると、こんな、 0 気安さで、 だった。 N た。 。この桜 あ \bigcirc は 上気したよう 色 黒 す は、 ぐに つ ぽ いごつごつ 桜 年中 0 花 な、 どの びら えも L 季節でもとれ を た桜 煮 1, 詰 われぬ \bigcirc 8 皮 7 これるわけるからこのは 色が を 取 取 V) で美し l) 出 出 ない た せ ・ピンク るの ŧ (,) 0 だ、 だ 桜 ろう 0 0 色が と。 花 لح が とれ 思 咲 < つ る た。 直 0 前 だ 0 (ころ、 と際いは う。 和 山

い私桜 そ 木 話 を聞 花び 花 7 Ġ b 花 体が 1+ でなく、 は ク 瞬 は、 揺らぐような不思議 わ ば Z 木全体 幹 のピ 机 で懸命になっ 0 クで あ ク ij, な感じ て最上 ほ 樹 に襲 皮 わ 尖 端 机 クであ た。 だけ 姿を 春 色に 先、 出 なろうとし ŧ 樹 た 液 うまも ŧ \bigcirc 0 ピ なく花 ンクであった。 てい す ぎなか る姿が、 となっ た。 て咲き出 桜私 の脳 は 全身で春 裏に て よう 揺 \bigcirc b Y 8

7

(5)筆者が「はっと驚く」のは、どのようなことに気付いたからですか。「現	人間全体の世界 → (ささやかな言葉のひとつひとつ → ((4)空欄に当てはまる言葉を、第二場面から抜き出しなさい。	(3)実際にはいつ、何から取り出した色ですか。	(2)「この色は~」とありますが、筆者はどのように取り出したと考えていま	言葉というものは、	(1)「~美しいとは限らない」のはなぜですか。	い。たまたま志村さんのような人がそれを樹木全身の色として見せてくれると一つの現象になるにすぎないのだった。しかしわれわれの限られた視野の中で考えてみればこれはまさにそのとおりで、木全体の一刻も休むことない活動
「現象」「背後」の二語を使って二十字以内で書き)			ましたか。	から。	〈出典〉「言葉の力」大岡(信(「国語2」光村図書より	aと、はっと驚く。 Fでは、桜の花びらに現れ出たピンクしか見えなぬ動の精髄が、春という時節に桜の花びらという

年 組 わ き 番 ワ T 名 ツ 玉 語

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

彙だけ 美し 間 全体 別 は と決 0 ょ ŧ < がそ ささやかな言葉の一つ一つに のではなくて、 ま 美 つ L 7 1 言 を いる言葉 用 いたとき同 正 それを発している人間全体 L 正 1) 言 L 葉に ľ 1) よう と 決 っい 反映し 15 ま 美 つ 7 L 7 語 てし る。 () 1) る言 とは まうからである。 L かぎら の世 葉は かし、 一界をい な な 私 たたち () 。それは、ある人があ やおうなしに背 が 用 () あ る言 言葉 る きとき発 葉 負って 0 と" うも 机 L を た L しまうところにあれるのの本質が、口や とっ 言葉 が 7 質が、 が と ん ナ 2, 7 ŧ 先 美 る だけ L か 独 b か 15 であ そ た ŧ 机 る。 とし だ \bigcirc 1+ 人 語 7 へ

着 京 7 物 都 を \bigcirc 見 る 嵯 せてく 色 峨 だっ 15 住 た。 机 じ た。 染織 そ そのピンクは、 家志村ふくみさん 0 美 しさは目と 淡 1 を 1) \bigcirc 吸 ようでい 仕 事 () 込 場 む へ よう て、 話し 7 L 15 感じ かも () た におり、 Ġ 燃えるよう 机 た。 志 村 さん な 強さを内 がなんとも美し 15 秘 &い桜 は なや 色に か 染まっ で L か た ŧ 糸 深 て 落 織 ち

この色は何から取り出したんですか。」

「桜からです。」

の 志 は 桜 と志 さん 村 \bigcirc 皮 皮 をもらっ から は 続 は答えた。 け 取 てこう l) てきて染め 出 L た色 教えてく 素 人 なな 0 ると、こんな、 0 気安さで、 だった。 N た。 。この桜 あ \bigcirc は 上気したよう 色 黒 す は、 っぐに いごつごつ 桜 年中 0 花 な、 どの びら えも L 季節でもとれ を た桜 煮 1, 詰 われぬ \bigcirc 8 皮 7 これるわけるからこのは 色が を 取 取 1) で美し l) 出 出 ない せ た るの ピン () ŧ 0 だ桜の 7 だ ろう 0 0 色が と。 花 لح が とれ 思 咲 < つ る た。 直 0 前 だ 0 (ころ、 と際いは う。 和 山

7 い私桜 そ 木 話 を聞 花び 花 7 Ġ b 花 体が 1+ でなく、 は ク クは、 揺らぐような不思議 わ ば そ 木全体 幹 のピ 机 ンクで で懸命になっ 0 あ ク ij, な感じ て最上 ほ 樹 15 皮 襲 わ 尖 端 机 クであ た。 だけ 姿を 春 色に 先、 出 なろうとし ŧ 樹 た 液 うまも ŧ \bigcirc 0 ピ なく花 ンクであった。 てい す ぎなか 、る姿が、 となっ た。 て咲き出 桜私 の脳 は 全身で春 裏に て よう 揺 \bigcirc b Y &

色として見 一刻 れの限られた視野の ŧ 休むことない せてくれると、 中では、 活動 0 精髄 はっと驚く。 桜の花びらに が、 春 という 現 時 机 節 出 たピン 15 . 桜 0 クし 花びら か見えな とい j

い。たまたま志村さもりようじ、ドー・しかしわれわー一つの現象になるにすぎないのだった。しかしわれわっての見象になるにすさにそのとおりで、木全体の 1 「〜美しい とは 限ら な () 0 は なぜですか。 〈出典〉「言葉のカ」 大岡 信 (「国語2」光村図書より)

(2)「この色は~」とありますが、 筆者はどのように取り出 したと考えていましたか。

言葉というものは、

それを発している人間全体の世界を背負ってしまう

から。

桜の花びらを煮詰めて色を取り出した。

3 実際 には () つ、 何 から 取 I) 出 L た色です か

桜 0 花 が 咲く 直 前 0 ころ、 桜 0 皮 から 取 V) 出 L た色。

空欄に当てはまる言葉を、 第二場 面 から抜き出 しなさい。

ささやかな言葉のひとつひとつ 間全体の世界 \downarrow 木全体の一 桜の花びら 刻も休むことのない 活 動 0 精 髄

5 なさい。 筆者が「はっと驚く」 0 は、 どのようなことに気付いたからですか。 「現象」「背後」 の二語を使って二十字以内で書き

現
象
0
背
後
15
あ
る
目
10
見
ż
な
()
ŧ
0
0
働
き
0

中二 国 【生 物 が 記 録 する科学— イオロギングの 可 能 性

き ワ ツ 玉 語 月

日

組 番 名

年

次 0 文 章 を 読 6 で、 問 1) 15 答えなさ

見 ŧ 7 氷 斉に ギ 0 0 ガ 上 め ン る 氷 工 15 た 水 ち 途 はだ飛 中 ろ 75 15 ラ は 切 ガ う 上 飛 つ 和 す れかが \geq び Y 立 つ 泌 所 答え i 7 6 ま つ 口 き は て 7 ギ たい る 潜 Y 1, 歩 る。 (写 V) っ い同 た。 Z 7 始 ゝ真B)。 を 和 や 8 そ 用 ががな () 7 デ 7 つ ところ 1) 明 羽 数 ギ か が 十 ・ンた 分 羽 が か ほガ ガ が ち ど] 五 ギ な X ば 経ガ は 7 ŧ 遇 b た 水す ガ 鳴 1 ま た 中 る ル 歩 ٤, へ ほ ギ ŧ と ح ا 餌 周 離 目 (,) \bigcirc う l) 和 的 た 大 \mathcal{O} 地 潜 味 ょ 合 <u>~</u>° 所 ょ 15 15 唱 ン か 到 を 1) 餌 水 ギ b す 行 を中な 3 水 動 捕かりた た た 面 が 8

へ を あ 0 ま す 私い 5) たち よう る。 n ば 彼 Ξ な b 行 羽 餌 は、 動 を が群 異 をとる 巡 潜 なる 0 水 7 中 \mathcal{O} 競深 0 0 開 いだろう。 さで 争 三 始と終っ は 羽 餌 激 を 深 了 捕 度 だ な 記 つ けをわざわざー る。 7 録 () 計 Z ること を 和 取 を 1) 避が付 けわけ 致させて 7 かて る 調 別 7 Q 同 いることに 4 ľ よう た。 行 動 な L 义 深 3 7 なる。 7 が 1) で 3 Z 餌 0 \bigcirc な だ捕 結 果

6

ŧ 7

~ 理

び

出

L

、きた。

 \bigcirc

工氷

ツ \bigcirc が

デ 上 見

ル

ザ

ラシ

段

ば何

日

観

る

Z

0

由

ż

き

た。

あ

る

と

き、

 \sim

ザ

が

顮 \bigcirc

を す

出

を

る

水 は

開 水

始 面 ウ

終

了 か

致 \bigcirc

ょ 陰

せ 15

る 隠 は 7

ギ

氷 水

が 面

()

場

所

て

15

浮

,;,

氷 P 飛 7

n

7

飛 は 7

び 深

 $\frac{1}{2}\lambda$ 直 6 後 ギ 所 \bigcirc て 行 た < 小 動 5 る 魚 ウ は を エ デ 捕 ツ 7 イ ワ 1) ま デ 6 ル へ 深度 0 \widehat{m} 10 20 30 40 2 8 時間(分)

図3 いっしょに潜水を繰り返すアデリーペンギン 3羽の潜水行動(各個体を色別で示す。)





アデリーペンギンが水中に飛び込む 写真B 様子(上)と水中から飛び出す様子(下)

、こ、甫重旨い

から十一字で書き抜きなさい	(4) アラリーへこキンか(1) のような行動をするのになせてすか、文章中から十	7
を説明するため。		
	B、図3は何を説明するために使われていますか。	(3)写真B、
こと。	三羽が	三
	図3からどんなことがわかりますか。	2 図 2
·Jと°		
	- T	(1)写声
<i>''</i> [〈出典〉「生物が記録する科学―バイオロギングの可能性」 佐藤克文(「国語2」 光村図書より)	
	も重要だが、捕食者に食べられないこともまた重要なのだ。を守るための行動であるようだ。野生のペンギンにとっては、餌を効率よく捕ることなどの小魚が「群衤になって捕食者の目をくらませるのと同しように「捕食者から臭	も重要だが、などの小魚か

中二 国 【生 物 が 記 録 する 科学— 1 - 才 ロギング (D) 可 能 性 解 答 例

月

日

年	
	15
組	
	わき
番	ノヾ
	ワー
名前	アップ
	ラシー
	7
	(国語
	1)

次 文章を読 h 問 1) 答えなさ

1

見 ŧ 7 氷 斉に ギ \bigcirc 0 ガ 上 め ン る 氷 工 15 た 水 ち 途 はだ飛 中 ろ 75 15 ラ は 切 ガ う 上 飛 和 れかが す 75 \mathcal{E} ぐに Y 立 つ 泌 所 答え 7 6 ま つ 口 き て は 7 ギ たい る 潜 Y 1, 歩 る。 V) . グ (写真B)。 っ 同 た。 7 7 始 を 和 や 8 そ が 用 が な () 7 デ 7 ところ IJ 明 羽 数 ギ か が 十 ・ンた 分 羽 が か ほガ ガ が ち ど] 五 ギ な X ば 経ガ は 7 遇 b た 水 す ガ 鳴 1 中 た る ル 歩 ٢, へ ほ ギ ŧ と 2 餌 周 離 目 (,) \bigcirc う l) 和 的 興 \bigcirc た 大 地 潜 味 ょ 合 <u>~</u>° 所 ょ 15 15 唱 ン か 到 を () ギ 餌 水 b す 行 を 中 な 水 動 捕かりた た た 面 が 8

へ を あ 0 ま す 私い り、 たち よう 和 る。 ば 彼 Ξ な Ġ 行 羽 餌 は、 動 を が群 異 をとる 巡 潜 なる 0 水 7 中 \mathcal{O} 競 深 0 0 開 いだろう。 さで 争 三 始と終っ は 羽 激 餌 を 深 了 捕 度 だ 、なる。 記 つ けをわざわざ一致させて 7 録 () 計 そ ること を 和 取 を l) 避が付 けわ け 7 かて る 調 別 7 Q 同 いることに 4 ľ よう た。 . 行 動 な L 図 7 深 3 いなる。 7 が で る Z 餌 0 \bigcirc な だ捕 結 ぜ 果

6

ŧ 7

ば何

日

観

る

Z

0

由

ż

7

き

た。

あ

る

び

出

L

ザ

が

顮 \bigcirc

を す

出

ウ へ 理

ツ \bigcirc が

ル

ザ

ラシ

は 7

工氷

を

る

水 は

開 水

始 面

終

了

致 \bigcirc

ょ 陰

せ 15

る

氷 水

が 面

()

場

所

て

浮

か デ 上 見

,,,

氷 P

隠

n

、きた。 とき、 7 ギ 段 飛 は Z び 深 \bigcirc \sim $\frac{1}{2}\lambda$ 直 6 所 後 ギ \bigcirc て 行 た < 動 ち 3 魚 ウ は を エ デ 捕 ツ 7 1 ワ 1) ま デ 6 ル 深度 0 \widehat{m} 10 20 30 40 2 8 0 時間(分)

図3 いっしょに潜水を繰り返すアデリーペンギン 3羽の潜水行動(各個体を色別で示す。)





アデリーペンギンが水中に飛び込む 写真B 様子(上)と水中から飛び出す様子(下)

を守るための行動であるようだ。などの小魚が、群れになって捕食 も重要だが、 捕 食者に食べられないこともまた重要なのだ。 群れになって捕食者の目をくらませるのと同じように、 野生のペンギンにとっては、 餌を効率よく捕ること 捕食者から身

〈出典〉「生物が記録する科学―バイオロギングの可能性」佐藤克文(「国語2」光村図書より)

(1)写真Bからどんなことがわかりますか。

アデリーペンギンたちは(潜水のとき)一斉に飛び込み、いっしょに飛び上がってくる

こと。

(2) 図3からどんなことがわかりますか。

異なる深さで餌を捕っている

三羽が

ر ک

(3)写真B、図3は何を説明するために使われていますか。

アデリーペンギンが潜水の開始と終了だけをわざわざ一致させていること

を説明するため。

4 アデリーペンギンが 1 のような行動をするの はなぜですか。 文章中から十一字で書き抜きなさい。

捕 食 者 か b 身 を 守 る た 8

*(1)~(3)は同意可